

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年9月5日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年9月5日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【6号機計装用圧縮空気タンクの圧力低下について】 6号機計装用圧縮空気タンク圧力低の警報が発生し、すぐに圧力が通常圧力へ復帰したことを当直員が確認。現場確認の結果、運転中の計装用空気圧縮機(B)には異常がなく、後置クーラーのドレントラップ(※)排水口廻りに水があることを確認。 このことから、原因は計装用空気圧縮機(B)後置クーラーのドレントラップが動作不良で吹き止まらなかったことにより、一時的にタンクの圧力が低下したものと推定。 今後、当該ドレントラップを分解点検予定。</p> <p>※ドレントラップ: 圧縮空気内の水分を捕集、排出する機器</p>	GⅢ	9月1日
2	<p>【高性能多核種除去設備前処理フィルタ(4B)内の集水管接続部ボルト穴の腐食について】 協力企業作業員が高性能多核種除去設備前処理フィルタ(4B)の内部点検を実施した際、フィルタ内の集水管が外れていることを確認。 原因は、集水管接続部のボルト穴が腐食し、固定用ボルトが抜け落ちたものと推定。 外れた集水管および固定用ボルトは全て回収を行い、フィルタの下流側へ混入していないことを確認後、当該フィルタを集水管がない状態で復旧済み。 なお、集水管がない状態であっても、水の流れが少し変わる程度のため、フィルタの性能に影響なし。 今後フィルタ全数を点検し、対策を検討。</p>	GⅢ	8月31日